

119番のかけかたは電話の種類でちがいます！

公衆電話からの119番通報

緊急通報用ボタン付<緑色>

●受話器を上げて、緊急通報用ボタンを押し、119番をダイヤルする。

(10円・100円玉、カードを入れて、119番をダイヤルしても通話可能。)



緊急通報用ボタンが電話機にないもの デジタル公衆<灰色>

●受話器を上げて、119番をダイヤルする。

(10円・100円玉、カードを入れて、119番をダイヤルしても通話可能。)



緊急通話装置がないもの<ピンク色>

●店の人に申し出て、カギで切り替え、119番をダイヤルする。

(カギで切り替えずに10円玉を入れて、119番をダイヤルすると片側通話になり、消防署側には聞こえない。)



会社などからの119番通報

ビジネスホン型式

●外線のボタンを押して、プーという発信音を確認してから119番をまわす。



構内交換機がある場合

- 内線から直接外線にかけられるもの

加入電話接続専用信号を押して発信音を確認してから119番をまわす。(例ー0発信)

- 内線から直接外線へかけられないもの

内線から電話交換手呼び出し、119番の接続、通話を依頼する。



家庭からの119番通報

- 一般家庭用電話
局番なしの119番をまわす。

- ホームテレホン

外線のボタンを押して、プーという発信音を確認してから119番をまわす。

- 親子電話

使う電話でプーという発信音を確認してから119番をダイヤルする。



携帯電話から119

携帯電話などの移動電話は著しい加入者の増加で、国民2人に1人が持つというほど普及しており、移動電話からの119番通報が急速に増加しています。

しかし、移動電話は通報者が今いる場所が分からない場合が多く、災害発生場所を聴取するのに時間がかかる傾向があります。

このことから、携帯電話から通報する場合は、付近の目標となる建物や住居表示板等に表示されている所在を確認してから通報して下さい。

□ 携帯電話の通報要領 □

- 所在・目標を確かめてから通報しましょう。
- 携帯電話であることを告げましょう。
- 運転中に通報する場合は、安全な場所に一旦停車してから通報しましょう。
- 119番受付場所からかけ直すことがありますので、通報後 10 分間程度は電話の電源を切らないようにしましょう。
- 電話番号はすぐ言えるようにしておきましょう。
- 携帯電話は、地下街やトンネル等からは、かかりにくくなる場合があります。
- 近くに加入電話などがあれば、なるべくその電話を利用しましょう。
- 高速道路の場合は、方向、上り、下り等の車線を確認してから通報しましょう。